

平成27年度香川県水産審議会 議事録

1 日 時 平成27年11月4日(水) 13:30~15:00

2 場 所 アイパル香川3階 大会議室(第5・6会議室)

3 出席者 服部委員、大平委員、濱本委員、森高委員、多田委員、山本(久)委員、山本(啓)委員、
松本委員、青井委員、池田委員

条例第7条第2項の規定により、本委員会が有効に成立

4 議題

条例第7条第3項の規定により、会長の服部委員が議長となり、議事を進行。

(1) 報告事項

専門部会の開催状況について

松本委員が担い手対策部会の概要について報告。素案の内容については、了承されたとのこと。

多田委員が栽培・養殖・流通部会の概要について報告。素案の内容については、了承されたとのこと。

濱本委員が漁港・漁場整備部会の概要について報告。素案の内容については、了承されたとのこと。

(2) 協議事項

次期香川県水産業基本計画(素案)について

事務局が次期香川県水産業基本計画骨子案について説明した後、協議に入る。

委員： 8月の審議会では担い手に関する意見が多かった。一番のポイントは定着率が低いところである。
定着率を上げるため、何をするかを具体化する必要がある。

事務局： ソフト面に対応している。就業後に水産業普及指導員や担い手担当が訪問し、仕事の状況や悩み
などを聞いているところ。

委員： メンタル面が非常に重要。普及指導員が一番接するのにふさわしいと考える。地元の市町の協力
も重要である。

委員： オリーブ牛は世界を見ている。オリーブハマチのターゲットはどこか。地元の魚屋では普通のハ
マチはもう売れないと聞いている。讃岐でんぶくの記述がない。讃岐さーもの今後の展開はどう
か。食育教室では高齢者の栄養不足に取り組んでいるが、サケ類は使うのが簡便でよい。

事務局： オリーブハマチは県内ではブランドを確立した。県外では、類似品との産地間競争が激しいが、
首都圏での新しい売り方やこれまで販売促進に取り組んでいない地域対策を行う。讃岐でんぶくに
ついては、天然のものであることも知られていなかったの、改めて取組みを強化する。讃岐さーも
んについては、生産者も拡大中であり、ブランド確立へ対応していく。

委員： 漁船漁業者の魚をどう取り扱うかが重要。今、県で県産水産物を使用した惣菜に対し50円の値引
きシールを付けてもらっている。スーパーにも効果があるが、市場でもあまり値段が付かなかった
地魚にも単価アップの効果が出てきている。うちはハマチのシーズンになるとオリーブハマチ以外
取り扱っていないが、オリーブハマチという付加価値のあるものを使っていることをもっとアピー
ルしないといけない。予算や何もかも行政に頼るのは良くないが、我々が言うより、知事さんがPR

してくれると言葉に力がある。おさかな大使の活動もありがたい。

委員： オリーブハマチの生産者も増えてきた。オリーブハマチは15億円産業であり、品質の安定、オリーブ葉の確保等生産者団体への指導が重要となってくる。生産者団体の意思統一が重要。今年、県魚ハマチ指定20周年を迎える。ハマチ三兄弟の名前の記述がない。

委員： 首都圏の人よりハマチは環瀬戸内海の人の方がたくさん食べているのではないかと。全てが東京である必要はないと思う。マーケットは大きいけど、過酷な価格競争にさらされる。

事務局： 首都圏以外のこれまで販売促進を行っていなかった地域での取組みも強化していく。ブランドを言う限りは、品質が安定していることが絶対である。クレームがあると全体に影響する。販路については、まず県内で認知していただき、県外、海外でも行けそうなものはチャレンジしているところ。新規就業者についても、漁業は定着が大変である。今回計画から、就業相談から就業後までの一貫したサポートを行うこととしている。どうすれば効果的にできるか、皆様方のご意見も賜りながら進めたい。

委員： いただきさんがもうすぐ高松市内からいなくなると聞いた。一緒に消えてしまうものもあるのではないかと。お魚伝道師が引き継いでいくのか。

委員： 農業では野菜ソムリエという人が旬や特徴を説明してくれる。水産でも魚などをPRするために前に一歩出て旗を振る人が必要では。

委員： いただきさんは今やっている人が辞めると次の世代はない。今の若い人に行商に行けと言うのは無理。過去に会社で行商を行うことを検討したが、衛生面での課題がある。昔は、年末に一人で200本もハマチを売る人もいた。軒先まで訪れる究極の訪問販売であった。

事務局： 子供の頃にはよくいただきさんが来ていた。今日はこれが旬と勧めてくれ、どういう食べ方をしたらいいとかを教えてくれ、下ごしらえもしてくれる。行政では直接的な支援は難しいと思うけど、いただきさんが果たしてきた機能をどのように引き継げるか考えたい。

議長： 他県の漁連もいただきさんの活用に取り組んだが、保健所からの課題をクリアできず進まなかった。

議長： 委員から出された意見を参考に、次期香川県水産業基本計画の策定を進めていただきたい。

全委員： 異議なし。

(3) その他

議長： その他について、事務局から何かあるか。

事務局： 次回の水産審議会については、来年1月下旬の開催を予定している。

議長： 他に何かあるか。

議長： 他に何もなければ、閉会としたい。

—審議終了—